2021年近畿地方整備局による 河川整備計画計画変更案の骨子(1)

三川合流点と支川流量の関係

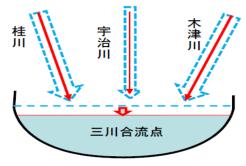


国土交通省

- ○従前より実施している予備放流に加え、大戸川ダムの整備により大戸川からの流量が低減することで、天ヶ瀬ダム の洪水調節容量が確保され、三川合流部の流量を低減するための二次調節が可能となる。
- ○天ヶ瀬ダムの二次調節により、三川合流点の水位を低下させることができれば、三川合流点の上流にも下流にも効 果を発揮する。
- 〇淀川水系の既設ダムの位置図
- 最も三川合流点に近い天ヶ瀬ダムの洪水調節が、 三川合流点の水位低下効果が大きい。

學短川 三川合流点から55km 日野川 野洲川 京瀬田川洗堰 大戸川ダム 三川合流点から16km) (三川合流点から47km)。 三重県 大服府

〇三川における流量低減のイメージ





桂川の日吉ダム、木津川のダム群 による下流への流量低減と併せて、 宇治川の流量を天ヶ瀬ダムが2次 調節により低減することで、三川合 流点の湛水量が減るため、三川合 流点の水位が低減。

【天ヶ瀬ダムの洪水調節】

• 天ヶ瀬ダムは宇治川の洪水を調節 した後、三川合流点ピーク付近にお いては、背水影響の大きい宇治川 や淀川の流量をさらに低減するた め、2次調節を実施するダム。



2021年近畿地方整備局による河川整備計画計画変更案の骨子(2) 大戸川ダムの効果

大戸川ダムによる効果(水位の低下)

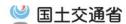
🤎 国土交通省

〇流域が平均的な湿潤状態で平成25年洪水が発生した場合に、大戸川ダムが完成し、天ヶ瀬ダムの二次調節が可能となることにより、大戸川及び宇治川、淀川本川の延べ約62km区間にわたり水位低減効果を発揮。



2021年近畿地方整備局、大戸川ダムがある場合、ない場合の比較

大阪府が最も危険な条件となる被害想定



〇大戸川ダムの治水効果について、<u>仮に、河川整備基本方針の計画規模洪水が発生した場合で、大阪府が最も危</u>険となる条件下において、大戸川ダムなし・ありの状態の差を試算した。

算定条件	大戸川ダム無し	大戸川ダム有り
対象外力	河川整備基本方針の計画規模洪水	同 左
中・上流部の河道	戦後最大洪水(S28洪水)対応河道改修済み	同 左
下流 (淀川) の河道	阪神なんば線橋梁架替済み	同 左
洪水調節施設	川上ダム完成、天ヶ瀬ダム再開発完成	川上ダム完成、天ヶ瀬ダム再開発完成、大戸川ダム完成
天ヶ瀬ダムの操作 (図は洪水調節イメージ)	一定放流 (1,140mi/s) ※ 天が得力の背面が下させない。	二次調節あり (1,140m/s — 400m/s) 連川 (枚方) の流下能力 一 グム流入量
その他ダムの操作	計画操作	同 左

大戸川ダムができると、淀川水系で、4800ha 浸水域 を減らすことができて、9兆円の被害軽減が可能!

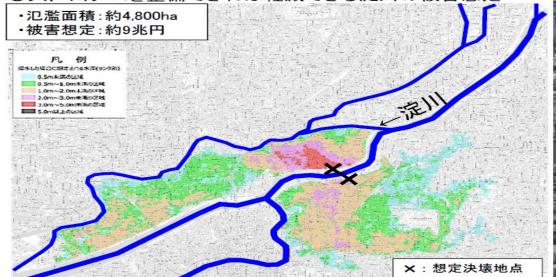
淀川(大阪府域)への被害想定



国土交通省

- ◆河川整備基本方針の計画規模洪水が発生した場合
- 〇中上流部においての河川整備を行うと流出増となるため、淀川本川の現在の治水安全度は低下。
- 〇仮に、桂川において現行河川整備計画の目標の河川整備(昭和28年洪水対応)を実施した状態で、大戸川ダムがな い場合、淀川本川は計画高水位を超えるほどに水位が上昇することとなり、さらに堤防決壊により氾濫被害が発生し た場合、浸水面積は約4.800ha、被害額は約9兆円になると想定される。
- 〇大戸川ダムが完成し、天ヶ瀬ダムの二次調節が実施できるようになれば、淀川本川の水位を低下させることが可能と なり、淀川本川の氾濫被害の発生をできるだけ抑えることができる。

〇大戸川ダムを整備できれば軽減できる淀川の被害想定



現行河川整備計画目標に対する大阪府への大戸川ダムの効果 (河川整備基本方針の計画規模洪水)

〇毛馬排水機場付近の計画高水位超過区間



毛馬排水機場の排水を停止せざる得ない洪水に見舞われた場合 大阪市内等で内水被害が発生する恐れ 20

出典:第1回淀川水系関係6府県調整会議 資料6をもとに作成

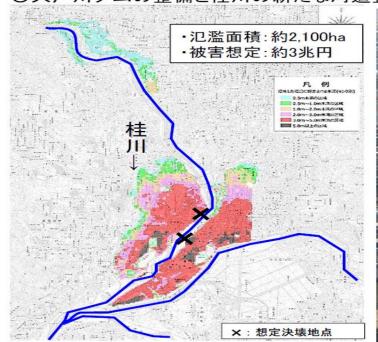
桂川の場合、大戸川ダムができると2100haの浸水被害を減らし、3兆円の被害が軽減できると主張

桂川(京都府域)の被害想定



国土交通省

- ◆流域が平均的な湿潤状態で平成25年洪水が発生した場合
- 〇仮に、桂川が現況河道(H29時点)の状態で、大戸川ダムがない場合、桂川は計画水位を超えるほど水位が上昇し、 さらに堤防決壊による氾濫した場合、浸水面積は約2,100ha、被害額は約3兆円と想定。
- 〇大戸川ダムが完成し、天ヶ瀬ダムの二次調節が実施できるようになれば、<u>淀川本川の水位を低下させることが可能</u>となり、桂川の新たな河川整備を実施することができるため、桂川の氾濫被害の発生をできるだけ抑えることができる。
- 〇大戸川ダムの整備と桂川の新たな河道整備により軽減できる桂川の被害想定





22

2021年2月の流域治水関連法案では、利水用ダムを治水に活用できると法案制定。淀川地点で、桂川、宇治川、木津川上流部の利水ダムの転用で、8356万トンの転用が可能と表明。大戸川ダム2200万トンの4倍にあたる流量だ。

内訳、

- ①宇治川水系(天ヶ瀬ダム、喜撰山ダム) 現在洪水調節容量(万㎡):2000、なTが今後の洪水調節可能容量(万㎡):703
- ②木津川水系(高山ダム、青蓮寺ダム、布目ダム、比奈知ダム、室生ダム) 現在洪水調節容量(万㎡):6595、今後の洪水調節可能容量(万㎡):5697.9
- ③桂川水系(日吉ダム) 現在洪水調節容量(万㎡):4200、今後の洪水調節可能容量(万㎡):1955.2

合計(宇治川水系、木津川水系、桂川水系) 現在洪水調節容量(万㎡):12795、今後の洪水調節可能容量(万㎡):8356.1